

CASBEE-建築(新築)2016年版
 京都市長岡京市六ノ坪物流PJ新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質								2.4	
Q1 室内環境								2.7	
1	音環境	2.0	0.15						
	1.1 室内騒音レベル	1.0	0.40						
	1.2 遮音	2.6	0.40						
	1 開口部遮音性能	3.0	0.60						
	2 界壁遮音性能	2.0	0.40						
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
	1.3 吸音	3.0	0.20						
2	温熱環境	3.0	0.35			3.0			
	2.1 室温制御	3.0	0.50						
	1 室温	3.0	0.38						
	2 外皮性能	3.0	0.25						
	3 ゾーン別制御性	3.0	0.38						
	2.2 湿度制御	3.0	0.20						
	2.3 空調方式	3.0	0.30						
3	光・視環境	3.0	0.25			3.0			
	3.1 昼光利用	3.0	0.30						
	1 昼光率	3.0	0.60						
	2 方位別開口								
	3 昼光利用設備	3.0	0.40						
	3.2 グレア対策	3.0	0.30						
	1 昼光制御	3.0	1.00						
	3.3 照度	3.0	0.15						
	3.4 照明制御	3.0	0.25						
4	空気質環境	2.6	0.25			2.6			
	4.1 発生源対策	3.0	0.50						
	1 化学汚染物質	3.0	1.00						
	4.2 換気	3.0	0.30						
	1 換気量	3.0	0.33						
	2 自然換気性能	3.0	0.33						
	3 取り入れ外気への配慮	3.0	0.33						
	4.3 運用管理	1.0	0.20						
	1 CO ₂ の監視	1.0	0.50						
	2 喫煙の制御	1.0	0.50						
Q2 安全・健康性能								3.0	
1	機能性	2.4	0.40			2.4			
	1.1 機能性・使いやすさ	1.6	0.40						
	1 広さ・収納性	1.0	0.33						
	2 高度情報通信設備対応	3.0	0.33						
	3 バリアフリー計画	1.0	0.33						
	1.2 心理性・快適性	3.0	0.30						
	1 広さ感・景観	3.0	0.33						
	2 リフレッシュスペース	5.0	0.33			2階に休憩スペース(92.10㎡)を設けた <A-09,15>			
	3 内装計画	1.0	0.33						
	1.3 維持管理	3.0	0.30						
	1 維持管理に配慮した設計	3.0	0.50						
	2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50						
2	耐用性・信頼性	2.7	0.30			2.7			
	2.1 耐震・免震・制震・制振	3.0	0.50						
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	3.0	0.80						
	2 免震・制震・制振性能	3.0	0.20						
	2.2 部品・部材の耐用年数	2.9	0.30						
	1 躯体材料の耐用年数	3.0	0.20						
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.0	0.20						
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	4.0	0.10			ビニルクロス貼 <A-08,09>			
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10						
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.20						
	6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20						
	2.4 信頼性	1.8	0.20						
	1 空調・換気設備	1.0	0.20						
	2 給排水・衛生設備	1.0	0.20						
	3 電気設備	3.0	0.20						
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20						
	5 通信・情報設備	1.0	0.20						

3 対応性・更新性			4.2	0.30				4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30				
1 階高のゆとり		3~5階の階高を7.0mとした。<A-08>	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ		倉庫のため、フレキシブルな空間とした <A-16>	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり		事務所、倉庫、トラックバスの3エリアについて積載荷重を設定	5.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1 空調配管の更新性			3.0	0.20				
2 給排水管の更新性			3.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20				
G3 室外環境(敷地内)			0	0.40	0	0	0	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.1
LR1 エネルギー			0	0.40	0	0	0	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm:0.88	4.2	0.20				4.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10				3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm:0.7	4.0	0.50				4.0
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			3.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
LR2 資源・材料リサイクル			0	0.30	0	0	0	2.5
1 水資源保護			3.0	0.20				3.0
1.1 節水			3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60				2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20				
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.20				2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.70				
1 消火剤			1.0	0.33				
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33				
3 冷媒			3.0	0.33				
LR3 地域貢献			0	0.30	0	0	0	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、参照値に対して84%	3.5	0.33				3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33				2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33				2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音			3.0	1.00				
2 振動			-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制			-	-				
3 日照障害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			1.6	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70				
2 発光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	○	-	-	○	○						
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0					○		○	○			○	○	-	○
2.4.1 空調・換気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-						
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のラミに漏れる光への対策	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標		室システムASC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
2.1.3 外皮性能		住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
		屋光率	1.5%		
3.1.1 屋光率		自然換気有効開口面積率	3.3%		
4.2.2 自然換気性能					
Q2 サービス性能		執務スペース	6.0㎡/人	病床	8.0㎡/床
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量	30.0 VA/㎡	シングル	15.0㎡ ツイン
1.1.2 高度情報通信設備対応		天井高	2.5 m		22.0㎡
1.2.1 広さ感・景観		リフレッシュスペース	109.4%	レストスペース	%
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数	30 年		
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定必要間隔	20 年		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔	20 年		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高	5.6 m		
3.1.1 階高のゆとり		壁長さ比率	8.4%		
3.1.2 空間の形状・自由さ		床荷重	2900, 14 N/m2		
3.2 荷重のゆとり					
Q3 室外環境(敷地内)		外構緑化指数	13%	建物緑化指数	6%
1 生物資源の保全と創出		空地率	48%	水平投影面積率	2%
3.2 敷地内温熱環境の向上		地表面対策面積率	7%	舗装面積率	46%
LR1 エネルギー					
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI/BPI _m	0.90	断熱等性能等級	等級3 相当
2 自然エネルギー利用		自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%
				採光を満たす住戸数	0.0%
				通風を満たす教室数	0.0%
				通風を満たす住戸数	0.0%
3 設備システムの高効率化		BPI/BPI _m	非住宅 0.67	住宅	-
LR2 資源・マテリアル				太陽光	.0kW
				太陽熱等	.0kW
				蓄電池	.0kW
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用率	0.0%		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		特定調達品目	-	エコマーク商品	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		使用比率	5.0%	自治体指定の特定品目等	-
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1430
3.2.3 冷媒		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
LR3 敷地外環境					
2.2 温熱環境悪化の改善		見付面積比	84%	隣接間隔指標Rw	0.64
		地表面対策面積率	10.0%	屋根面対策面積率	5.0%
		見付面積S _b	1.894㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _e	114.22 m
		緑地	386㎡	基準高さH _b	18.67 m
		水面	㎡	保水性対策面	㎡
				高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡